

NPO法人対人援助・スピリチュアルケア研究会の

対人援助研究所で学びませんか

— 対人援助特論（前期） — 科目等履修生募集（定員6名）

＜医療・福祉・教育の臨床現場に生かせる研究者の育成＞

隔3週開講

土曜日 12:30～18:40 × 7日

・社会人受講 大歓迎です。看護師/医師/ソーシャルワーカーが学んでいます。

【村田クラスの紹介】 講師紹介：村田久行 京都府生まれ

1985年 神戸大学大学院文化科学研究科博士課程単位取得修了

(東海大学 / 京都ノートルダム女子大学教授を経て)

現在 NPO法人対人援助・スピリチュアルケア研究会 理事 / 対人援助研究所講師

専攻 対人援助論、スピリチュアルケア研究、福祉原理、哲学

著書 『改訂増補 ケアの思想と対人援助』(1998年), 『援助者の援助』(2010年)川島書店,
『現象学看護—せん妄』(2014年)日本評論社, 『記述現象学を学ぶ』(2017年)川島書店
『苦しみを和らげる認知症ケア』(2023年)川島書店

論文 「終末期がん患者のスピリチュアルペインとそのケア」: 『緩和医療学』

「臨床に活かすスピリチュアルケアの実際 1～7」: 『ターミナルケア』 他多数

講演 「がん患者のせん妄へのスピリチュアルケア」第38回日本死の臨床研究会教育講演 等

対人援助特論 (前期)	募集要項																
<table border="1"><thead><tr><th data-bbox="132 1081 383 1120">回(日程) 講義題目</th><th data-bbox="383 1081 1002 1120">内 容</th></tr></thead><tbody><tr><td data-bbox="132 1137 383 1173">1(4/5) 人間学①</td><td data-bbox="383 1137 1002 1173">・ケア(Care)である人間/ケアの現象学</td></tr><tr><td data-bbox="132 1176 383 1211">2(4/26) 人間学②</td><td data-bbox="383 1176 1002 1211">・デカルト：方法の4規則、精神・物体の二元論</td></tr><tr><td data-bbox="132 1214 383 1323">3(5/17) 対人援助論</td><td data-bbox="383 1214 1002 1323">・対人援助論：援助とは何か—苦しみの構造— ・キューアとケアの概念対比 ・業務と援助</td></tr><tr><td data-bbox="132 1326 383 1525">4(6/7) 研究方法論</td><td data-bbox="383 1326 1002 1525">・サーヴェイとフィールドワーク (量的研究と質的研究) ・現象学的アプローチ ・研究設計と方法論を学ぶ (現象学的方法論：記述現象学)</td></tr><tr><td data-bbox="132 1527 383 1704">5(6/28) ケアの専門職性について</td><td data-bbox="383 1527 1002 1704">・雰囲気とコミュニケーションの研究 (4つの態度、共にいる、傾聴、共感、問いかけ) ・体験の意味の解明 ・事例でみる認知症ケア関係性の解明</td></tr><tr><td data-bbox="132 1706 383 1861">6(7/19) 日常のさまざまな場面の苦しみと援助</td><td data-bbox="383 1706 1002 1861">・日常の社会事象や事件にみられる苦しみの解明と援助を研究として取り上げ、その研究設計を学ぶ</td></tr><tr><td data-bbox="132 1863 383 1928">7(8/2) 最終レポート課題</td><td data-bbox="383 1863 1002 1928">・まとめと発表</td></tr></tbody></table> <p style="text-align: right;">(2025年度)</p>	回(日程) 講義題目	内 容	1(4/5) 人間学①	・ケア(Care)である人間/ケアの現象学	2(4/26) 人間学②	・デカルト：方法の4規則、精神・物体の二元論	3(5/17) 対人援助論	・対人援助論：援助とは何か—苦しみの構造— ・キューアとケアの概念対比 ・業務と援助	4(6/7) 研究方法論	・サーヴェイとフィールドワーク (量的研究と質的研究) ・現象学的アプローチ ・研究設計と方法論を学ぶ (現象学的方法論：記述現象学)	5(6/28) ケアの専門職性について	・雰囲気とコミュニケーションの研究 (4つの態度、共にいる、傾聴、共感、問いかけ) ・体験の意味の解明 ・事例でみる認知症ケア関係性の解明	6(7/19) 日常のさまざまな場面の苦しみと援助	・日常の社会事象や事件にみられる苦しみの解明と援助を研究として取り上げ、その研究設計を学ぶ	7(8/2) 最終レポート課題	・まとめと発表	<ul style="list-style-type: none">・対象：医療・福祉・教育の臨床現場で援助に携わる多職種の対人援助専門職・科目等履修生 定員：6名・会場：Zoom でのオンライン研修・受講料：100,000円・資料請求と受講申込書の受付：2025年2月22日(土)～3月17日(月) 受講申込はホームページより受講申込フォームにご記入ください。その際、受講動機2400字程度が必要です。webでのお申し込みが難しい場合は必要事項をご記入の上、受講申込書を事務局にメールで請求して下さい。加えて履歴書(市販可)を事務局まで郵送してください。受講承認後に、受講費のお振込についてご案内します。 <p>※送付先 E-mail：entry@sp-c.org ※履歴書送付先：対人援助特論事務局 〒603-8151 京都市北区小山下総町 41 番地 7 特定非営利活動法人 対人援助・スピリチュアルケア研究会 対人援助研究所 事務局 宛</p>
回(日程) 講義題目	内 容																
1(4/5) 人間学①	・ケア(Care)である人間/ケアの現象学																
2(4/26) 人間学②	・デカルト：方法の4規則、精神・物体の二元論																
3(5/17) 対人援助論	・対人援助論：援助とは何か—苦しみの構造— ・キューアとケアの概念対比 ・業務と援助																
4(6/7) 研究方法論	・サーヴェイとフィールドワーク (量的研究と質的研究) ・現象学的アプローチ ・研究設計と方法論を学ぶ (現象学的方法論：記述現象学)																
5(6/28) ケアの専門職性について	・雰囲気とコミュニケーションの研究 (4つの態度、共にいる、傾聴、共感、問いかけ) ・体験の意味の解明 ・事例でみる認知症ケア関係性の解明																
6(7/19) 日常のさまざまな場面の苦しみと援助	・日常の社会事象や事件にみられる苦しみの解明と援助を研究として取り上げ、その研究設計を学ぶ																
7(8/2) 最終レポート課題	・まとめと発表																